

# 第44回 定時株主総会 招集ご通知



日 時



令和8年6月24日（水曜日）  
午前10時（受付開始：午前9時）

場 所



兵庫県姫路市飾西38番地 1  
**当社 本社ビル 4階 大会議室**  
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 取締役4名選任の件
- 第3号議案 監査役2名選任の件

目次

■ 第44回定時株主総会招集ご通知	1
■ 株主総会参考書類	5
■ 事業報告	16
■ 連結計算書類	29

**フジプレミアム株式会社**

証券コード：4237

インターネット又は書面（郵送）による議決権行使期限

令和8年6月23日（火曜日）午後5時まで

証券コード 4237

令和8年6月4日

兵庫県姫路市飾西38番地1

**フジプレミアム株式会社**

代表取締役社長 松本倫長

株主各位

## 第44回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第44回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、以下の当社ウェブサイトへアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト

<https://www.fujipream.co.jp/ir/stock/meeting>



また、電子提供措置事項は、当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下よりご確認ください。

東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



（上記の東証ウェブサイトへアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「フジプレミアム」又は「コード」に当社証券コード「4237」を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類／PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知／株主総会資料」欄よりご確認ください。）

なお、当日ご出席されない場合は、インターネット又は書面（郵送）により議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、「議決権行使のご案内」に従い、令和8年6月23日（火曜日）午後5時までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

<b>1</b>	<b>日時</b>	令和8年6月24日（水曜日）午前10時（受付開始：午前9時）
<b>2</b>	<b>場所</b>	兵庫県姫路市飾西38番地1 当社 本社ビル4階 大会議室 (末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)
<b>3</b>	<b>目的事項</b>	<p><b>報告事項</b></p> <p>1. 第44期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件</p> <p>2. 第44期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）計算書類の内容報告の件</p> <p><b>決議事項</b></p> <p>第1号議案 剰余金処分の件</p> <p>第2号議案 取締役4名選任の件</p> <p>第3号議案 監査役2名選任の件</p>

以上

- ~~~~~
- 当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
  - 電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面には記載しておりません。なお、監査役及び会計監査人は次の事項を含む監査対象書類を監査しております。
    - ①事業報告の以下の事項  
「主要な営業所及び工場」「従業員の状況」「主要な借入先の状況」「新株予約権等の状況」「会計監査人の状況」「業務の適正を確保するための体制」「業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要」「会社の支配に関する基本方針」
    - ②連結計算書類の以下の事項  
「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」
    - ③計算書類の以下の事項  
「貸借対照表」「損益計算書」「株主資本等変動計算書」「個別注記表」
    - ④監査報告の以下の事項  
「連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書」「計算書類に係る会計監査人の監査報告書」「監査役会の監査報告書」
  - 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、1頁に記載のインターネット上の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトにその旨、修正前の事項及び修正後の事項を掲載いたしますので、ご了承ください。

# 議決権行使のご案内

議決権の行使には以下の3つの方法がございます。

## 株主総会に出席される場合



議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

### 株主総会開催日時

令和8年  
6月24日(水曜日)  
午前10時  
(受付開始：午前9時)

## インターネットで議決権を行使される場合

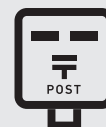


次頁のご案内に従って、議案に対する賛否をご入力ください。

### 行使期限

令和8年  
6月23日(火曜日)  
午後5時  
入力完了分まで

## 書面(郵送)で議決権を行使される場合



議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、ご投函ください。

### 行使期限

令和8年  
6月23日(火曜日)  
午後5時  
到着分まで

## 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

議決権行使書  
〇〇〇〇〇〇 御中  
株主総会日 議決権の数  
×××年××月××日

議案日現在のご所有株式数 XX株  
株主権印 印

1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_

ログイン用QRコード  
ログインID XXXX0000XXXX0000  
パスワード XXXXX

見本

〇〇〇〇〇〇

こちらに議案に対する賛否をご記入ください。

### 第1号議案

賛成の場合 ▶ **【賛】** の欄に○印

反対する場合 ▶ **【否】** の欄に○印

### 第2・3号議案

全員賛成の場合 ▶ **【賛】** の欄に○印

全員反対する場合 ▶ **【否】** の欄に○印

一部の候補者に反対する場合 ▶ **【賛】** の欄に○印をし、反対する候補者の番号をご記入ください。

※議決権行使書用紙はイメージです。

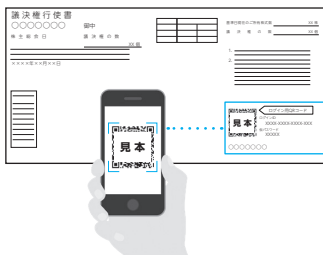
議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合には、賛成の意思表示があったものとしてお取り扱いいたします。インターネット及び書面(郵送)の両方で議決権行使をされた場合は、インターネットによる議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネットにより複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。

# インターネットによる議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法

議決権行使書用紙に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、議決権行使サイトにログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

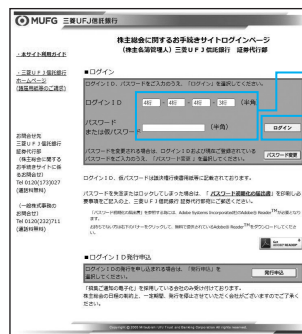
- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



## ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.mufg.jp/>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。
- 2 議決権行使書用紙に記載された「ログインID・仮パスワード」を入力しクリックしてください。



- 3 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォンの操作方法などがご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク  
0120-173-027  
(通話料無料/受付時間 午前9時~午後9時)

## 第1号議案

## 剰余金処分の件

### 1. 剰余金の処分に関する事項

第44期は、当期純損失を計上したことにより、繰越利益剰余金がマイナスとなりましたので、繰越利益剰余金を回復し、機動的な資本政策及び安定的な株主還元を可能とするため、別途積立金を取崩したいと存じます。

1

減少する剰余金の項目  
及びその額

別途積立金

3,000,000,000円

2

増加する剰余金の項目  
及びその額

繰越利益剰余金

3,000,000,000円

### 2. 期末配当に関する事項

第44期の期末配当につきましては、当事業年度の業績及び今後の事業展開等を勘案し、内部留保にも意を用い、以下のとおりといたしたいと存じます。

1

配当財産の種類

金銭

2

配当財産の割当てに  
関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき

金6円

配当総額

171,449,034円

3

剰余金の配当が  
効力を生じる日

令和8年6月25日

## 第2号議案 取締役4名選任の件

取締役全員（4名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、取締役4名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者 番号	ふりがな 氏名	当社における地位及び担当	所有する当社株式の数
1	再任 まつ もと とも なが <b>松本倫長</b>	代表取締役社長 管理本部長	2,264,100株
2	再任 な むら のぶ ひこ <b>名村信彦</b>	代表取締役専務 生産本部長 事業創出本部 技術戦略統 括部 管掌役員	7,700株
3	再任 き むら ひろ し <b>社外</b> <b>木村裕史</b> <b>独立</b>	取締役	一株
4	再任 もり た こう じ <b>森田晃史</b>	取締役 専務執行役員 事業創出本部長	3,000株

**再任** …再任取締役候補者

**社外** …社外取締役候補者

**独立** …東京証券取引所の定めに基づく独立役員

候補者番号

1

まつもとともなが  
**松本倫長** (昭和57年1月7日生)

再任

所有する当社株式の数

2,264,100株

取締役会への出席状況

17回中17回に出席 (100%)

**略歴、当社における地位、担当**

平成16年3月	当社入社
平成19年4月	当社ファインテック事業部長
平成19年6月	当社取締役 ファインテック事業部長
平成21年6月	当社常務取締役 生産本部副本部長兼ファインテック事業部長兼 IR・広報部長
平成22年4月	当社代表取締役 IR・広報部長
平成23年4月	当社代表取締役社長 フジプレ販売株式会社代表取締役 (現任)
令和2年4月	当社代表取締役社長 技術本部長
令和3年4月	株式会社飯沼ゲージ製作所 (現 プレマテック株式会社) 代表取締役会長
令和4年4月	同社代表取締役 (現任)
令和5年4月	当社代表取締役社長 管理本部長 (現任)
令和6年3月	株式会社東陽社製作所代表取締役
令和6年8月	同社取締役 (現任)

**重要な兼職の状況**

フォローウインド株式会社取締役  
フジプレ販売株式会社代表取締役  
プレマテック株式会社代表取締役  
株式会社東陽社製作所取締役

**取締役候補者とした理由**

松本倫長氏は、当社及び当社グループ会社の取締役を長年にわたり務め、平成23年4月からは当社の代表取締役社長に就任し、当社グループの経営を統括する等、企業経営に関する豊富な知識と経験を有しております。

上記の理由により、取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。

候補者番号

2

なむらのぶひこ  
名村信彦

(昭和48年8月15日生)

再任

所有する当社株式の数

7,700株

取締役会への出席状況

17回中17回に出席 (100%)

### ■ 略歴、当社における地位、担当

平成14年11月	当社入社
平成18年7月	フジプレミアム商事株式会社 (現 フジプレ販売株式会社) 代表取締役
平成24年4月	同社代表取締役社長
平成24年6月	当社取締役
平成27年4月	当社取締役 営業本部統括営業本部長
平成28年12月	当社代表取締役専務 ファインテック事業部長
令和2年4月	当社代表取締役専務 生産本部長兼管理本部長
令和3年4月	株式会社飯沼ゲージ製作所 (現 プレマテック株式会社) 取締役
令和5年4月	当社代表取締役専務 生産本部長
令和5年7月	プレマテック株式会社代表取締役 (現任)
令和6年8月	株式会社東陽社製作所代表取締役 (現任)
令和7年4月	フジプレ販売株式会社代表取締役 (現任)
令和8年4月	当社代表取締役専務 生産本部長 事業創出本部 技術戦略統括部 管掌役員 (現任)

### ■ 重要な兼職の状況

フジプレ販売株式会社代表取締役  
プレマテック株式会社代表取締役  
株式会社東陽社製作所代表取締役

### ■ 取締役候補者とした理由

名村信彦氏は、当社及び当社グループ会社の取締役を長年にわたり務め、平成28年12月からは当社の代表取締役専務に就任し、事業全般を統括する等、企業経営に関する豊富な知識と経験を有しております。

上記の理由により、取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。

候補者番号

3

木村裕史

(昭和38年9月5日生)

再任

社外

独立

所有する当社株式の数

一株

取締役会への出席状況

17回中17回に出席 (100%)

### ■ 略歴、当社における地位、担当

昭和62年 4月	野村証券投資信託委託株式会社 (現 野村アセットマネジメント株式会社) 入社
平成15年10月	弁護士登録
平成17年 7月	木村法律事務所開設 (現任)
平成18年 7月	当社顧問弁護士
平成21年 6月	当社監査役
平成22年 4月	フジプレ販売株式会社監査役
平成26年 6月	当社取締役 (現任)

### ■ 重要な兼職の状況

WDBホールディングス株式会社社外取締役

### ■ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

木村裕史氏は、弁護士としての豊富な経験と専門知識並びに高い法令遵守の精神を有しており、当該知見を活かして業務執行の監督等の役割・責務を果たしていただくことを期待し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、同氏は、社外役員となること以外の方法で会社の経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により社外取締役としての職務の執行を適切に遂行していただけるものと判断しております。

候補者番号

4

もり た こう じ  
森田晃史

(昭和46年10月19日生)

再任

所有する当社株式の数

3,000株

取締役会への出席状況

17回中17回に出席 (100%)

### ■ 略歴、当社における地位、担当

平成14年10月	当社入社
平成23年4月	当社執行役員 生産本部副本部長兼ファインテック事業部長
平成24年4月	当社執行役員 生産本部副本部長兼ファインテック事業部長
平成26年10月	当社執行役員 市場開拓営業部長兼ファインテック事業部長
平成27年4月	当社執行役員常務 営業本部東京営業本部長
平成27年6月	当社取締役 執行役員常務 営業本部東京営業本部長
令和2年4月	当社取締役 常務執行役員 営業本部長
令和3年4月	当社取締役 専務執行役員 営業本部長
令和3年8月	飯沼精密（蘇州）有限公司 （現 普瑞玛精密科技（蘇州）有限公司） 董事長（現任）
令和5年4月	当社取締役 専務執行役員 事業創出本部長（現任）
令和6年3月	株式会社東陽社製作所代表取締役
令和6年8月	同社取締役（現任）

### ■ 重要な兼職の状況

株式会社東陽社製作所取締役  
普瑞玛精密科技（蘇州）有限公司董事長

### ■ 取締役候補者とした理由

森田晃史氏は、当社の生産部門及び営業部門の責任者を歴任する等、製造及び営業に関する豊富な経験と実績を有しており、平成27年6月からは当社の取締役に就任しております。

上記の理由により、取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。

- 注) 1. 取締役候補者 松本倫長氏は、当社の親会社であるフォローウインド株式会社において、現在及び過去10年間に取締役の地位にありません。
2. 取締役候補者 松本倫長、名村信彦の両氏は、フジプレ販売株式会社及びプレマテック株式会社の代表取締役を兼務しており、当社は両社との間に業務委託等の取引関係があります。他の取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
3. 木村裕史氏は、社外取締役候補者であります。
4. 木村裕史氏は、現在当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は本総会終了の時をもって12年となります。
5. 木村裕史氏は、過去において当社及び当社の子会社であるフジプレ販売株式会社の監査役でありました。
6. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険（D&O保険）契約を締結しており、当社取締役を含む被保険者がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を、当該保険契約によって填補することとしております。なお、各候補者が取締役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。
7. 当社は、木村裕史氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ており、同氏の再任が承認された場合には、引き続き独立役員とする予定であります。

### 第3号議案 監査役2名選任の件

監査役 山本良徳、田島宏一の両氏は、本総会終結の時をもって辞任により退任されますので、監査役2名の選任をお願いするものであります。

なお、監査役候補者 清瀧康生、本田三郎の両氏は、監査役 山本良徳、田島宏一の両氏の補欠として選任されることとなりますので、その任期は当社定款の定めにより、退任される両監査役の任期の満了する時までとなります。

また、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

候補者 番号	ふりがな 氏名	当社における地位	所有する当社株式の数
1	<div style="display: inline-block; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px 5px;">新任</div> きよ たき やす お <b>清瀧康生</b>	—	一株
2	<div style="display: inline-block; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px 5px;">新任</div> ほん だ さぶ ろう <div style="display: inline-block; background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px; margin-left: 5px;">社外 独立</div> <b>本田三郎</b>	—	一株

新任 … 新任監査役候補者

社外 … 社外監査役候補者

独立 … 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

候補者番号

1

きよ たき やす お  
**清瀧 康生** (昭和39年10月26日生)

新任

所有する当社株式の数

-株

### ■ 略歴、当社における地位

平成9年6月	オプトレックス株式会社（現 京セラ株式会社）入社
平成27年4月	当社入社 執行役員 営業本部東京営業本部部長
令和2年4月	当社執行役員 営業本部第1営業部長
令和5年4月	当社執行役員 事業開拓営業部長（現任）

### ■ 重要な兼職の状況

-

### ■ 監査役候補者とした理由

清瀧康生氏は、国内外で幅広い営業の経験を有しており、当社の営業部門の要職を歴任する等、当社事業に関する豊富な経験と幅広い見識を有しております。

上記の理由により、監査役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、監査役として選任をお願いするものであります。

候補者番号

2

ほんだ さぶ ろう  
**本田三郎** (昭和51年9月18日生)

新任

社外

独立

所有する当社株式の数

一株

## 略歴、当社における地位

平成12年4月	東レ株式会社入社
平成30年4月	同社フィルム事業本部 ディスプレイ材料事業部門 光学材料事業部機能材料販売課 (現 ルミラー事業第2部光学材料課) 長
令和2年4月	同社フィルム事業本部 ディスプレイ材料事業部門 光学材料事業部機能材料販売第2課 (現 ルミラー事業第2部光学材料課) 長
令和3年7月	東麗国際貿易(中国)有限公司 フィルム1部長兼フィルム2部長
令和6年7月	東レ株式会社フィルム事業本部 ルミラー事業部門 ルミラー事業第2部大阪ルミラー課長(現任)

## 重要な兼職の状況

—

## 社外監査役候補者とした理由

本田三郎氏は、当社の取引先である東レ株式会社の製造部門等の責任者を務める等、豊富な経験と幅広い見識を有しており、当該知見を当社監査体制の強化に活かしていただくことを期待し、社外監査役として選任をお願いするものであります。

なお、同氏は、直接会社の経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外監査役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断しております。

- 注) 1. 清瀧康生、本田三郎の両氏は、新任の監査役候補者であります。  
 2. 清瀧康生、本田三郎の両氏と当社との間には、特別の利害関係はありません。  
 3. 本田三郎氏は、社外監査役候補者であります。  
 4. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険(D&O保険)契約を締結しており、当社監査役を含む被保険者がその職務の執行に関し責任を負うことまたは当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を、当該保険契約によって填補することとしております。なお、各候補者が監査役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。  
 5. 本田三郎氏は東京証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たしており、同氏の選任が承認された場合には、独立役員として指定する予定であります。

## ご参考

第2・3号議案が原案どおり承認されますと、本総会終結後の役員の構成は次のとおりとなります。

氏名	地位	属性	在任年数	企業経営	技術・研究開発	製造・品質	営業	グローバル	財務会計	法務・コンプライアンス
まつもと ともなが 松本倫長	代表取締役社長		19年	★	★	★	★	★		
なむら のぶひこ 名村信彦	代表取締役専務		14年	★		★	★			
きむら ひろし 木村裕史	取締役	社外 独立	12年							★
もり た こうじ 森田晃史	取締役		11年			★	★			
きよ たき やすお 清瀧康生	常勤監査役		一年				★	★		
たけ しろ けいご 竹代慶吾	監査役	社外 独立	1年						★	
ほん だ さぶろう 本田三郎	監査役	社外 独立	一年				★	★		

社外 … 社外取締役候補者又は社外監査役候補者 独立 … 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

注) 上記一覧表は、取締役及び監査役の有するすべてのスキル・経験・知見を表すものではありません。

以 上

## 1 企業集団の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直し、インバウンド需要も相まって緩やかに回復いたしました。一方で、資源価格の変動や円安基調による物価上昇が家計や企業収益に影響を及ぼしたほか、金融政策の転換に伴う金利動向の変化等により、先行きは不透明な状況にあります。設備投資はデジタル化や脱炭素化関連を中心に底堅く推移しつつも、人手不足の深刻化やコスト上昇への対応が課題となりました。世界経済においては、デジタル関連投資やサービス需要に支えられ緩やかに成長いたしました。地政学リスクの高まりに伴う資源価格の上昇やインフレ圧力の再燃、金融市場の不安定化等により、成長の鈍化が見られました。

このような環境の中、当社グループでは、独自の精密貼合技術を核とした高付加価値製品の開発及び用途拡大を推進してまいりました。車載・エレクトロニクス分野においては、電気製品・部品を中心に最終需要の回復が鈍く、顧客の発注姿勢は年間を通じて慎重な状況が続きました。需要回復の遅れの影響を受け、受注環境は改善に至らず、当該分野の業績は低調に推移いたしました。FA関連、工作機械、エンジニアリング分野では、国内の設備投資に一部持ち直しの動きが見られたものの、中国をはじめとする一部地域の経済減速の影響を受け、全体として力強さを欠く展開となりました。当社グループは生産効率改善やコスト構造の見直しを進め、収益性向上に取り組んだ結果、一部に改善が見られたものの、採算の改善や新規案件の創出にはなお課題を残し、厳しい状況が続きました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの連結業績は、売上高8,115百万円（前連結会計年度比23.6%減）、経常損失68百万円（前連結会計年度は248百万円の経常利益）となりました。また、固定資産の減損損失2,027百万円を特別損失として計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は2,301百万円（前連結会計年度は262百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

#### (イ) 精密貼合及び高機能複合材部門

国内外のディスプレイ及びタッチパネル市場では、市場全体として回復の動きに乏しく、タブレットやPC向け高性能モジュールについても需要の本格的な回復には至りませんでした。車載用途においても当社グループの対象分野での採用拡大は限定的であり、海外メーカーを含む競争環境の厳しさが受注面に影響を及ぼしました。このような事業環境のもと、当社グループは精密貼合技術の高度化や先端設備・新素材を活用した高付加価値製品の開発に引き続き取り組んでまいりましたが、売上の回復には至らず、操業度の低下も影響したことから、当該部門の業績は通期を通じて低調に推移いたしました。その結果、当該部門は損失が拡大し、過去に比して低水準の業績となりました。市場環境の本格的な回復にはなお時間を要すると見込まれ、当面は慎重な事業運営が必要な状況にあります。

この結果、精密貼合及び高機能複合材部門の売上高は5,081百万円（前連結会計年度比30.3%減）、営業損失は149百万円（前連結会計年度は24百万円の営業損失）となりました。

#### (ロ) 環境住空間及びエンジニアリング部門

国内太陽電池市場においては、従来型パネル分野を中心に海外メーカーとの競争が引き続き激しく、事業環境は厳しい状況が続きました。当社グループでは、従来製品のコスト最適化や建材一体型太陽電池の生産体制強化に継続して取り組んでまいりました。また、次世代型太陽電池であるペロブスカイト太陽電池については、将来の事業化を見据えた研究開発段階にあり、現時点で収益への寄与は限定的であります。エンジニアリング部門においては、国内の設備投資環境に一部持ち直しの動きが見られたものの、顧客の投資判断は引き続き慎重であり、受注は総じて伸び悩む状況が続きました。当社グループでは、アジア新興国を含めた海外販売体制の整備を進めておりますが、地域・分野により装置需要にはばらつきが見られ、装置販売は低調に推移いたしました。

この結果、環境住空間及びエンジニアリング部門の売上高は3,033百万円（前連結会計年度比9.0%減）、営業利益は71百万円（同69.2%減）となりました。

## (部門別売上高)

部 門	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前連結会計年度比 (%)
精密貼合及び高機能複合材部門	5,081	62.6	△30.3
環境住空間及びエンジニアリング部門	3,033	37.4	△9.0
合 計	8,115	100.0	△23.6

## ② 設備投資の状況

当社グループは、当連結会計年度におきまして、総額253百万円の設備投資を実施いたしました。

## ③ 資金調達の状況

当社グループの当連結会計年度の資金調達は、長期借入金800百万円であります。

## ④ 重要な組織再編等の状況

該当事項はありません。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分	第41期 (令和5年3月期)	第42期 (令和6年3月期)	第43期 (令和7年3月期)	第44期 (当連結会計年度) (令和8年3月期)
売 上 高	16,419,888	13,248,262	10,620,871	8,115,010
経常利益又は経常損失 (△)	874,682	742,383	248,644	△68,340
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰 属する当期純損失 (△)	707,127	574,197	262,848	△2,301,271
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (△)	24円75銭	20円09銭	9円20銭	△80円53銭
総 資 産	16,834,718	18,436,947	15,963,770	14,639,728
純 資 産	9,539,633	9,993,373	10,016,928	7,666,653
1株当たり純資産額	329円64銭	345円44銭	350円55銭	268円30銭

注) 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。

### (3) 重要な親会社及び子会社の状況

#### ① 親会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社に対する議決権比率 (%)	当社との関係
フォローウインド株式会社	10	42.37	役員の兼任、製品の販売等

#### ② 親会社との間の取引に関する事項

親会社との間の取引については、当社取締役会において、客観性が高く適切な取引条件であるか等につき確認をしております。

取締役会の判断については、利害関係を有しない取締役によってなされており、社外監査役からも適切な意見を得ながら決定しております。そのため、当社取締役会は、親会社との間の取引は、当社の利益を害するものではないと判断しております。

#### ③ 重要な子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社の出資比率 (%)	主要な事業内容
フジプレ販売株式会社	50	100.0	当社製品（太陽電池モジュール等）の販売業務、物流業務等
プレマテック株式会社	50	100.0	機械装置の製造等
株式会社東陽社製作所	25	100.0	自動車及び二輪車の部品製造

注) フジプレ販売株式会社は、令和8年3月31日付で減資を行い、資本金が減少しております。

#### (4) 対処すべき課題

当社グループは、精密貼合及び高機能複合材関連事業におきまして、コア技術である精密貼合技術（注）を活用し、ディスプレイ用部材やタッチパネルの製造において、高品質・高効率の追求に取り組んでまいりました。また、用途開発として自動車業界向けや医療機器業界向けの展開にも取り組んでおりますが、当該分野においては需要の選別化や競争環境の変化が見られており、こうした環境変化への対応が課題となっております。今後は、精密貼合技術を活用した複合化製品の展開に向け、引き続き営業活動の強化に取り組んでまいります。自動車業界向けについては、部品製造・販売機能の強化を通じた事業基盤の拡充を図ってまいります。

環境住空間及びエンジニアリング関連事業におきましては、太陽電池モジュールの供給体制の維持・強化に取り組んでまいります。ペロブスカイト太陽電池については実用化に向けた研究開発段階にあり、将来の事業化を見据えた取組みを進めております。また、環境配慮型の住空間・生産環境の実現に向けて、メカトロニクス技術を活用した省人化・省エネルギー化関連ビジネスや、半導体・液晶関連向け装置の製造・販売についても、事業環境を踏まえつつ対応を進めてまいります。

(注) 精密貼合技術

大小様々なサイズの光学機能性フィルム等をマイクロレベルの精度で貼り合わせる技術であり、液晶、高精細テレビの部材やタッチパネルの製造に必要とされております。

## (5) 主要な事業内容 (令和8年3月31日現在)

部 門	事業内容及び製商品
<p>精密貼合及び 高機能複合材部門</p>	<p>「精密貼合技術」を活用し、ディスプレイに使用されるタッチパネル、液晶パネル等に関する製品の製造・販売を行っております。 また、新商品や新技術に関する試作対応を随時行っており、新規事業の獲得に取り組んでおります。</p> <p>「製商品の種類」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. タッチパネルセンサー基板</li> <li>2. 液晶ディスプレイ用部材</li> <li>3. 自動車部品製造販売</li> </ol>
<p>環境住空間及び エンジニアリング部門</p>	<p>「太陽電池モジュール製造技術」を活用した太陽電池モジュールの製造・販売を行っております。 また、住宅やビルの窓に使用する断熱用・飛散防止用のフィルムラミネートガラスの製造・施工・販売を行っております。更に、メカトロニクス事業の技術力を活かした事業展開、半導体関連向けの装置製造販売を行っております。</p> <p>「製商品の種類」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽電池モジュール</li> <li>2. 太陽光発電システム関連商品</li> <li>3. フィルムラミネートガラス</li> <li>4. 半導体関連向け装置製造販売</li> </ol>

## (6) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2 会社の現況

### (1) 株式の状況 (令和8年3月31日現在)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ① 発行可能株式総数    | 105,000,000株 |
| ② 発行済株式の総数    | 29,786,400株  |
| ③ 株主数         | 13,690名      |
| ④ 大株主 (上位10名) |              |

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
フォローウインド株式会社	12,092,700	42.31
松本倫長	2,264,100	7.92
松本庄藏	1,854,000	6.48
日垂化学工業株式会社	1,425,000	4.98
東レ株式会社	1,040,000	3.63
ジェイアンドエム株式会社	475,500	1.66
リンクテック株式会社	312,000	1.09
津田鉄也	282,300	0.98
藤田和也	258,000	0.90
蔵野孝行	166,000	0.58

注) 1. 当社は、自己株式を1,211,561株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

## (2) 会社役員 の 状況

### ① 取締役及び監査役の状況（令和8年3月31日現在）

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	松 本 倫 長	管理本部長 フォローウインド株式会社取締役 フジプレ販売株式会社代表取締役 プレマテック株式会社代表取締役 株式会社東陽社製作所取締役
代表取締役専務	名 村 信 彦	生産本部長 フジプレ販売株式会社代表取締役 プレマテック株式会社代表取締役 株式会社東陽社製作所代表取締役
取 締 役	木 村 裕 史	弁護士 WDBホールディングス株式会社社外取締役
取 締 役	森 田 晃 史	専務執行役員 事業創出本部長 株式会社東陽社製作所取締役 普瑞玛精密科技（蘇州）有限公司董事長
常 勤 監 査 役	山 本 良 徳	
監 査 役	田 島 宏 一	
監 査 役	竹 代 慶 吾	税理士

- 注) 1. 取締役 木村裕史氏は、社外取締役であります。  
 2. 監査役 田島宏一、竹代慶吾の両氏は、社外監査役であります。  
 3. 当社は、取締役 木村裕史及び監査役 田島宏一、竹代慶吾の3氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。  
 4. 監査役 竹代慶吾氏は、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。  
 5. 当事業年度中の監査役の異動は次のとおりであります。  
 ①令和7年6月25日開催の第43回定時株主総会において、竹代慶吾氏は新たに監査役に選任され就任いたしました。  
 ②令和7年6月25日開催の第43回定時株主総会終結の時をもって、監査役 中川康徳氏は任期満了により退任いたしました。  
 6. 当事業年度末日の翌日以降における取締役の地位、担当及び重要な兼職の異動状況は次のとおりであります。

氏名	旧役職名	新役職名	異動年月日
名 村 信 彦	代表取締役専務 生産本部長 フジプレ販売株式会社代表取締役 プレマテック株式会社代表取締役 株式会社東陽社製作所代表取締役	代表取締役専務 生産本部長 事業創出本部 技術戦略統括部 管掌役員 フジプレ販売株式会社代表取締役 プレマテック株式会社代表取締役 株式会社東陽社製作所代表取締役	令和8年4月1日

## ② 役員等賠償責任保険契約の内容の概要等

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約の被保険者の範囲は、当社の取締役、監査役、執行役員であり、保険料は全額当社が負担しております。被保険者の職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を、当該保険契約によって填補することとしております。ただし、被保険者の職務の執行の適正性が失われないようにするため、背信行為等は填補の対象としないこととしております。

## ③ 取締役及び監査役の報酬等

### (イ) 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針

当社は、令和4年3月1日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しております。その概要は次のとおりです。

#### a. 基本方針

当社の取締役の報酬は、企業価値の持続的な向上を図るインセンティブとして十分に機能するよう株主利益と連動した報酬体系とし、個々の取締役の報酬の決定に際しては各役職位・担当職務の責任の範囲及び個人業績を踏まえた適正な水準とすることを基本方針とする。具体的には、取締役（社外取締役を除く）の報酬は、固定報酬としての基本報酬に加え、短期の業績等に連動する業績連動報酬及び企業価値の持続的な向上を目的とした株式報酬により構成し、監督機能を担う社外取締役については、その職務に鑑み、基本報酬のみを支払うこととする。

#### b. 基本報酬に関する方針

基本報酬は、原則として月例の固定報酬とし、役職位・担当職務の責任の範囲及び個人業績に応じて世間水準、従業員給与とのバランスを考慮しながら、総合的に勘案して決定す

る。

c. 業績連動報酬に関する方針

業績連動報酬は、事業年度ごとの業績向上に対する意識を高めるため業績指標を反映した現金報酬とし、各事業年度の「連結営業利益」の目標値に対する達成度合いに応じて算出された額を報酬として毎年、一定の時期に支給する。総報酬に占める業績連動報酬の割合は、業績指標の目標達成した場合、基本報酬70%、業績連動報酬30%に設定する。

d. 非金銭報酬（株式報酬）に関する方針

株式報酬は、取締役（社外取締役を除く）に対して譲渡制限期間30年以内とする譲渡制限付株式とし、一定の時期に付与する。付与する株式の個数は、役職位・職責、株価等を踏まえて決定する。

e. 取締役の種類別の報酬割合に関する方針

当社の取締役の種類別の報酬割合については、役職位・職責、当社と同程度の事業規模を有する他社の動向、当社の財務状況を踏まえて決定する。

f. 報酬等の決定の委任に関する方針

当社の取締役の個人別の報酬については、取締役会により委任された代表取締役社長が、平成16年6月30日開催の第22回定時株主総会において定められた、年額200,000千円以内で決定する。

## (ロ) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の総額等

区 分	報酬等の 総額 (千円)	報酬等の種類別の総額 (千円)			対象となる 役員の員数 (名)
		基本報酬	業績連動 報酬等	非金銭 報酬等	
取 締 役 (うち社外取締役)	75,251 (4,000)	61,752 (4,000)	13,499 (-)	- (-)	3 (1)
監 査 役 (うち社外監査役)	7,825 (1,999)	7,825 (1,999)	- (-)	- (-)	3 (2)
合 計 (うち社外役員)	83,077 (5,999)	69,577 (5,999)	13,499 (-)	- (-)	6 (3)

- 注) 1. 取締役の報酬等の額には、従業員兼務取締役の従業員分給与は含まれておりません。
2. 上記には、令和7年6月25日開催の第43回定時株主総会終結の時をもって退任した社外監査役1名に対する報酬等の額を含んでおります。また、無報酬の取締役1名及び社外監査役1名は含まれておりません。なお、当事業年度末日現在の会社役員の数人は、取締役4名(うち社外取締役1名)及び監査役3名(うち社外監査役2名)であります。
3. 業績連動報酬等に係る業績指標は連結営業利益であり、実績は78,131千円の営業損失(令和8年3月期)であります。当該指標を選択した理由は企業活動の収益力を明確に示している指標であるとの考えによるものであります。当社の業績連動報酬は、毎期公表された業績予想の達成度合い及び最近5事業年度の実績平均との比較を勘案しており、業績評価指標の目標を達成した場合の基準額が、基本報酬70%、業績連動報酬30%に設定しております。
4. 取締役の報酬限度額は、平成16年6月30日開催の第22回定時株主総会において年額200,000千円以内と決議いただいております。ただし、従業員兼務取締役の従業員分給与は含まれておりません。当該株主総会終結時点の取締役の員数は11名です。また、令和2年6月26日開催の第38回定時株主総会において、取締役(社外取締役を除く)に対する譲渡制限付株式報酬制度の導入をご承認いただいております。当該報酬額は上記の報酬限度額とは別枠とし、年額50,000千円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役(社外取締役を除く)の員数は3名です。
5. 監査役の報酬限度額は、平成16年6月30日開催の第22回定時株主総会において年額40,000千円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は3名です。
6. 取締役会は、代表取締役社長 松本倫長氏に対して、株主総会でご承認いただいた報酬限度額の範囲内で取締役の個人別の報酬等の内容を決定する権限を委任しております。委任した理由は、当社の経営全体を俯瞰しつつ、各取締役の役職・担当職務の責任の範囲及び個人業績を勘案した総合的な評価を行うには代表取締役社長が適していると判断したためであります。また、当該権限が代表取締役社長によって適切に行使されるよう、社外取締役から適切な関与・助言を得るものとし、代表取締役社長は、当該助言等の内容に従って各取締役の報酬額を決定しております。

## (ハ) 当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が決定方針に沿うものであると取締役会が判断した理由

取締役会は、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針と整合していることや、社外取締役からの適切な関与・助言を得ていることを確認する等、総合的に検討を行った結果、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

## ④ 社外役員に関する事項

(イ) 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

取締役 木村裕史氏は、WDBホールディングス株式会社の社外取締役であります。WDBホールディングス株式会社と当社との間には特別な関係はありません。

(ロ) 当事業年度における主な活動状況

・社外取締役

氏名	出席状況、発言状況及び期待される役割に関して行った職務の概要
木村 裕史	当事業年度開催の取締役会17回すべてに出席しております。弁護士としての独立した立場で、専門的な知識・経験を活かし、各議題に対する法令視点での見解等について発言を行う等、意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしております。

・社外監査役

氏名	出席状況及び発言状況
田島 宏一	当事業年度開催の取締役会17回すべてに出席し、当事業年度開催の監査役会16回すべてに出席しております。当社の取引先である東レ株式会社で培ってきた経験と見識から、適宜発言を行っております。
竹代 慶吾	令和7年6月25日就任以降開催の取締役会13回すべて、監査役会10回すべてに出席しております。税理士及び司法書士として培われた専門的な知識・経験を活かし、当社監査体制の強化に取り組んでおります。

(ハ) 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

注) 本事業報告中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度末	前連結会計年度末
	令和8年3月31日現在	(ご参考) 令和7年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>8,458,556</b>	<b>7,157,953</b>
現金及び預金	4,843,034	4,212,977
受取手形	－	5,063
売掛金	1,382,648	1,555,892
契約資産	388,463	302,422
電子記録債権	307,798	634,364
商品及び製品	8,486	7,957
仕掛品	256,194	393,442
原材料及び貯蔵品	1,219,006	266,698
その他	237,118	69,437
貸倒引当金	△184,195	△290,302
<b>固定資産</b>	<b>6,181,171</b>	<b>8,805,816</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>5,187,572</b>	<b>7,585,302</b>
建物及び構築物	2,523,897	3,399,483
機械装置及び運搬具	60,127	764,390
土地	2,581,252	3,161,138
リース資産	16,460	23,134
建設仮勘定	0	194,509
その他	5,835	42,645
<b>無形固定資産</b>	<b>1,471</b>	<b>55,667</b>
その他	1,471	55,667
<b>投資その他の資産</b>	<b>992,127</b>	<b>1,164,846</b>
投資有価証券	821,045	998,838
退職給付に係る資産	－	11,852
差入保証金	25,817	25,750
繰延税金資産	84,818	73,780
その他	63,109	57,287
貸倒引当金	△2,662	△2,662
<b>資産合計</b>	<b>14,639,728</b>	<b>15,963,770</b>

科目	当連結会計年度末	前連結会計年度末
	令和8年3月31日現在	(ご参考) 令和7年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>5,948,925</b>	<b>4,545,678</b>
支払手形	29,720	116,658
買掛金	2,071,836	377,391
電子記録債務	321,004	172,569
短期借入金	2,080,000	2,650,000
1年内償還予定の社債	－	32,000
1年内返済予定の長期借入金	1,086,919	763,880
リース債務	8,870	7,341
未払金	75,185	54,936
未払法人税等	41,056	37,436
未払消費税等	8,896	64,579
契約負債	66,994	72,353
賞与引当金	28,810	32,306
製品保証引当金	7,945	69,768
その他	121,685	94,456
<b>固定負債</b>	<b>1,024,149</b>	<b>1,401,163</b>
長期借入金	657,752	1,095,067
リース債務	16,375	18,106
退職給付に係る負債	77,299	49,225
繰延税金負債	233,720	197,518
その他	39,002	41,245
<b>負債合計</b>	<b>6,973,074</b>	<b>5,946,841</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>7,491,387</b>	<b>9,964,108</b>
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,519,077	2,519,077
利益剰余金	3,836,231	6,308,952
自己株式	△863,930	△863,930
その他の包括利益累計額	175,265	52,820
その他有価証券評価差額金	175,265	52,820
<b>純資産合計</b>	<b>7,666,653</b>	<b>10,016,928</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>14,639,728</b>	<b>15,963,770</b>

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度 (ご参考)
	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
売上高	8,115,010	10,620,871
売上原価	6,983,139	9,135,775
売上総利益	1,131,870	1,485,095
販売費及び一般管理費	1,210,001	1,264,982
営業利益又は営業損失(△)	△78,131	220,113
営業外収益	57,066	57,587
受取利息及び配当金	24,499	21,121
助成金収入	1,252	2,053
固定資産賃貸料	14,098	14,006
廃材売却収入	6,454	—
その他	10,762	20,406
営業外費用	47,275	29,056
支払利息	33,792	21,970
為替差損	6,051	1,267
その他	7,431	5,817
経常利益又は経常損失(△)	△68,340	248,644
特別利益	31,498	241,285
固定資産売却益	31,498	1,272
債務免除益	—	240,013
特別損失	2,267,611	3,899
固定資産売却損	1,236	3,899
関係会社出資金評価損	189,152	—
減損損失	2,027,223	—
役員退職慰労金	50,000	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,304,454	486,030
法人税、住民税及び事業税	31,816	69,669
法人税等調整額	△34,998	152,700
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,301,271	263,660
非支配株主に帰属する当期純利益	—	812
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,301,271	262,848

# 株主総会会場ご案内図

## 会場



兵庫県姫路市飾西38番地1  
当社 本社ビル4階 大会議室  
電話：(079) 266-6161 (代表)

### 交通のご案内

JR姫新線「余部駅」より  
徒歩約20分

JR「姫路駅」、  
山陽電鉄「山陽姫路駅」下車、  
神姫バス「姫路駅(北口)」  
31、32番線乗車(約20分)、  
「飾西郵便局前」  
下車すぐ(徒歩約1分)



お願い

お車でのご来場の場合、本社ビル駐車場に限りがございますので、  
なるべく最寄の交通機関をご利用ください。

[無料送迎バスの運行はございませんので、会場へお越しの際は上記の交通機関等をご利用ください。](#)

フジプレミアム株式会社

<https://www.fujipream.co.jp>

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。